

令和 7年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: みどり自然課
 担当名: ネイチャーポジティブ推進担当
 内線: 3146 (単位: 千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
P17	ネイチャーポジティブ推進事業費			一般会計	総務費	環境費	自然保護対策費	ネイチャーポジティブ推進事業費	
事業期間	令和 7年度～ 令和 9年度	根拠 法令	生物多様性基本法			針路 分野施策	10 1003	豊かな自然と共生する社会の実現 生物多様性の保全	SDGsゴール 13, 15, 17 SDGsターゲット 13-1, 13-2, 13-3,
1 事業概要 生物多様性の損失を止め回復させるためには、行政だけでは達成困難であり、多様な主体、特に企業の活動が不可欠である。そこで、官民が参画するプラットフォームを設置し、官民連携によるネイチャーポジティブ（NP・自然再興）実践モデルの構築及び県内各地への横展開を図るとともに、企業等の主体的・自主的な取組に対する補助制度を整備する。 ネイチャーポジティブ市町村補助事業				5 事業説明 (1) 事業内容 ア ネイチャーポジティブ企業参画促進事業 11,746千円 イ ネイチャーポジティブ市町村補助事業 59,146千円 (2) 事業計画 ア 既存のSDGs官民連携プラットフォーム里山検討部会を拡充し、「ネイチャーポジティブ分科会(仮)」を設立。企業向けセミナーや市町村・環境保全団体等との交流の機会を創出し、企業のNP実現に向けた取組の場やビジネス展開の場を提供する。 イ 官民連携により、希少種保護増殖(ムサシトミヨ等)に向けた周辺環境の保全・管理を行うNP実践モデルを構築し、その情報発信を行う。 ウ 県内企業の自主的な自然共生サイト登録に関する取組を促すため、補助制度を創設して企業を支援する。 エ 彩の国みどりの基金によるこれまでの各種補助を統合し、市町村が戦略的に取り組むNP事業に対し、そのニーズを踏まえた総合的な補助制度を創設する。 (3) 事業効果 ネイチャーポジティブ(自然再興)の実現に向け、行政・企業・県民の取組が広く展開されている。 【活動指標(アウトプット)】セミナー開催1回・情報発信4回、企業と連携した保全活動4回 【成果指標(アウトカム)】企業等の分科会への加入数20者→50者、自然再興活動への参加数100人 (4) 補正予算の概要 補助申請事業内容の変更に伴う財源変更 一般財源 △7,158千円 彩の国みどりの基金 7,158千円					
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)									
3 地方財政措置の状況 なし									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×3.8人=36,100千円									
予算額		財源内訳						一般財源	補正後の 予算額
決定額	0	繰入金	7,158					△7,158	70,892
現計額	70,892		52,871					18,021	

事業内訳書

事業名	ネイチャーポジティブ推進事業費		
単位事業名	ネイチャーポジティブ市町村補助事業	予算額	0千円

○歳入

(単位：千円)

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
繰入金・ 彩の国みどりの基金繰入金	7,158	—	
一般財源	△7,158	—	
合計	0	—	